

2020  
3月

『冬のダイヤモンドをみつけよう』



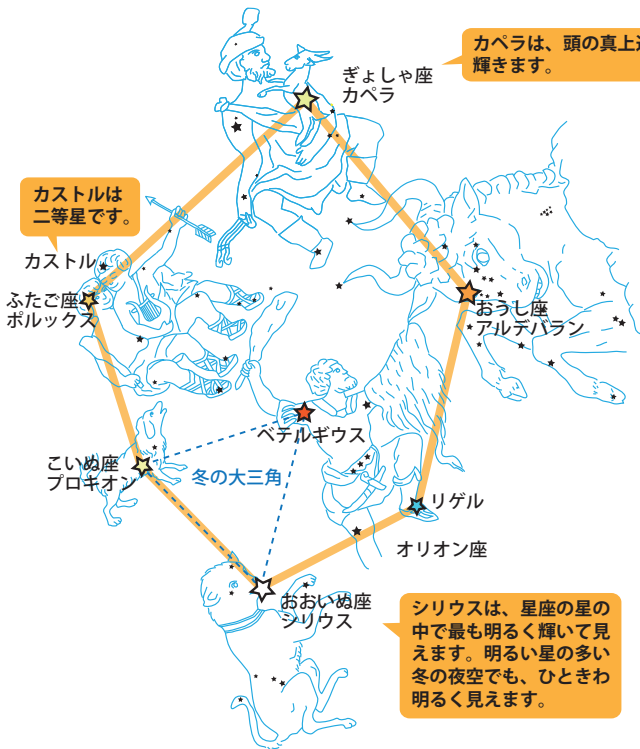
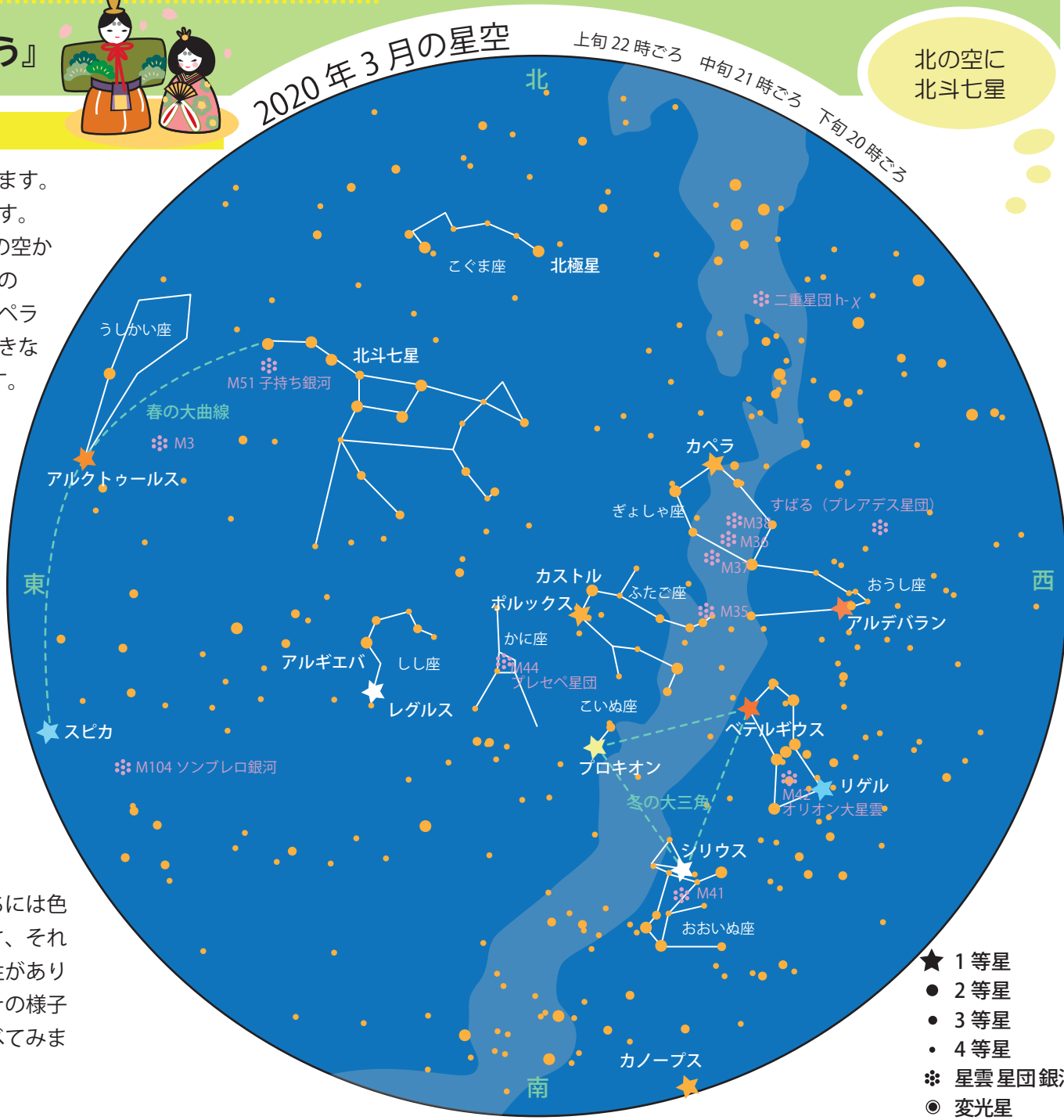
2020年3月の星空

上旬 22時ごろ 中旬 21時ごろ 下旬 20時ごろ

北の空に  
北斗七星

★一等星を6つ結んだ冬のダイヤモンド

春が近づくこの頃ですが、西よりの南の空には冬の星座が輝きます。冬の星座には明るい星や星雲、星団などの天体がたくさんあります。全天に一等星は21個ありますが、そのうちの7個が西よりの南の空から天頂付近に輝きます。おおいぬ座のシリウスから、オリオン座のリゲル、おうし座のアルデバラン、頭の真上に、ぎよしゃ座のカペラふたご座のポルクス、こいぬ座のプロキオンを結んでできる大きな六角形。これを「冬のダイヤモンド（大六角形）」と呼んでいます。どれも一等星ですが明るさや色はそれぞれ違ってきます。星座の星で一番明るいシリウスは、「焼き焦がすもの」という意味の通り、ギラギラと青白く輝きます。対して、おうし座の右目にあるアルデバランはオレンジ色に見える赤色巨星です。



カペラは、頭の真上近くで輝きます。

カストルは二等星です。

シリウスは、星座の星の中で最も明るく輝いて見えます。明るい星の多い冬の夜空でも、ひとときわ明るく見えます。

星たちには色や明るさ、それぞれ個性があります。その様子を見比べてみませんか。

- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- ※ 星雲 星団 銀河
- ◎ 変光星